

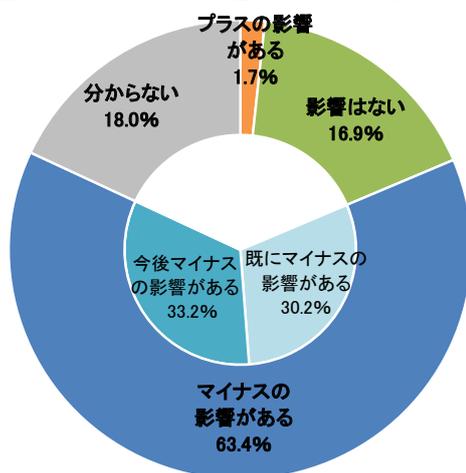
特別企画 : <速報>新型コロナウイルス感染症に対する企業の意識調査

日を追って企業の危機意識が高まる ～ 企業の63.4%が業績に「マイナスの影響」見込む ～

■ 中国の湖北省武漢市を中心に発生し、世界的に拡大している新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が全国的な広がりを見せている。そこで、帝国データバンクは、新型コロナウイルス感染症に対する企業の見解について調査を実施した。本調査は、TDB 景気動向調査 2020 年 2 月調査とともに行った

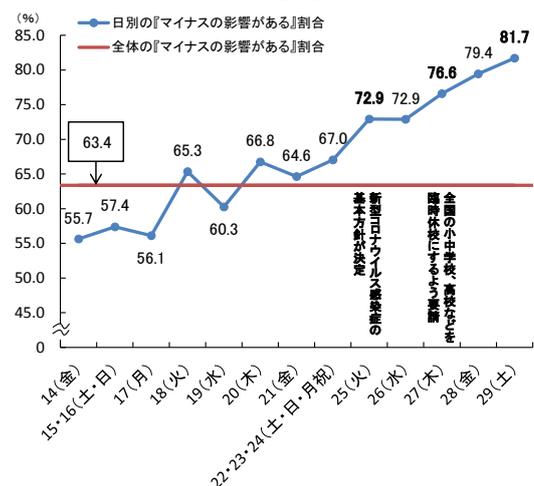
※ 調査期間は 2020 年 2 月 14 日～29 日、調査対象は全国 2 万 3,668 社で、有効回答企業数は 1 万 704 社（回答率 45.2%）。本資料の詳細版は、2020 年 3 月 6 日（金）に公表予定

新型コロナウイルス感染症による業績への影響



注：母数は、有効回答企業1万704社

『マイナスの影響がある』割合 ～日別推移～



調査結果（要旨）

1. 新型コロナウイルス感染症による自社の業績への影響、『マイナスの影響がある』と見込む企業は 63.4%。内訳をみると、「既にマイナスの影響がある」が 30.2%、「今後マイナスの影響がある」が 33.2%となった
2. 「影響はない」とする企業は 16.9%だった一方で、『プラスの影響がある』（「既にプラスの影響がある」と「今後プラスの影響がある」の合計）と見込む企業は 1.7%にとどまった
3. 『マイナスの影響がある』と見込む企業を日別にみると、日を追うごとに、マイナスの影響を見込む割合が増加した。特に、新型コロナウイルス感染症の基本方針決定以降は 7 割を超え、その傾向が顕著に表れた

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク データソリューション企画部 産業データ分析課

担当：池田 直紀、旭 海太郎

TEL 03-5775-3163 e-mail keiki@mail.tdb.co.jp

リリース資料以外の集計・分析については、お問い合わせ下さい（一部有料の場合もございます）。

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。